

<1年A組 Tさん>

わたしは、クラウンみたいにがんばれるところは、ともだちが、けがをしてしまったときです。わたしは、みんながげんきにすごせることが、ぜったいというわけではないことをはじめてしりました。そして、びょういんにいって、みんなをよろこばせるピエロがいることを、きょうしりました。そして、わたしがいっしょうけんめいがんばっていることは、きよしゆです。

<1年A組 Oさん>

おおむねさんは、がんばっていてみんなをえがおにするひとです。そんなおおむねさんは、すごいひとだとおもいます。いいひとですね。こんなにがんばるひとには、みるだけで、おうえんをしたくなります。

<2年A組 Kさん>

おおむねさん、わたしは、あんなパフォーマンスを見たのははじめてでした。いろいろなパフォーマンスがあって、ちょっとどきどきしたのものや、「アハハ」とわらったものもありました。

わたしは、おおむねさんのおかげで、ゆめがきました。それは、「ピアニスト」です。また、おおむねさんの「ホスピタルクラウン」は、とてもいいしごとだなと思いました。さいごに、しつもんです。おおむねさんのすきな店はなんですか。

<2年A組 Kさん>

わたしは、ちょうせんするゆう気があまりありませんでした。けど、おおむねさんが、ちょうせんするゆう気がひつようだとおしえてくれたので、ゆう気をもってがんばろうと思いました。わたしも人をわらわせてよろこばせるのが大好きです。なので、わたしもおおむねさんみたいに人をわらわせてよろこばせてえがおにしたいなと思いました。

おおむねさんが、パフォーマンスをしてくれたので、もっといつもよりゆう気をもっていけるようになりました。

<2年B組 Tさん>

わたしは、びょうきでくるしんでいる人を元気にできることができるからすごいなと思いました。わたしは、人のまえで話すのがあまりとくいじゃないけど、おおむねこうすけさんは、人のまえで話せられるからすごいなと思いました。おおむねこうすけさんの話をきいて、毎日、朝おきるのはあたりまえとっていましたが、おおむねこうすけさんの話をきいておきるのはふつうじゃないんだなと思ったし、毎日をたいせつにしたいなと思いました。おおむねこうすけさんみたいな元気をあたえられる人になりたいなと思いました。

<2年B組 Tさん>

わたしは、おおむねさんの話を聞いて、さいしょのパフォーマンスは、おもしろかったけど、いろいろなお話を聞いて、わたしが立ったりすわったりすることや、ごはんをたべたりすることがふつうだったけど、よの中にはそんなことができない子だっているから、1日1日たいせつにしていけないといけないことをはじめてしたし、おおむねさんがさいしょは、たくさんのお人の前にたつことが、にがてだったのにいまはたくさんのお人をえがおにしたり楽しませたりしていることがすごいです。すごいわざを見せてくれてありがとうございます。とてもおもしろかったです。また、つぎにあったときはもっとすごいわざを見たいです。

### <3年A組 Aさん>

おおむねさんの話を聞いて、わたしは、さいしょ、ただ面白いことをするだけの人だと思っていました。だけど、びょうきで学校に行けない子がいることや、ゆめやもくひょうがない子、そんな子を元気にすることなんてかんたんにできることじゃないと思います。だからこそ、おおむねさんは、とてもすごい人だと思いました。3年前のえいぞうをみて、びょうきの子は、とても笑っていてすごいなとなんとも思いました。

今までわたしは、ゆめがなく、どうやってみつけるのかもわかりませんでした。でも、おおむねさんは、「まだ、みんなは小学生だから、これからみつければいい。」とってくれてとてもうれしかったです。今日、話を聞いて、これからいろんな事にちょうせんしてゆめをみつけてみたいです。今日は、ありがとうございました。

### <3年A組 Kさん>

おおむねさんの話を聞いて、おおむねさんは、全国のびょういんをまわって、びょうきとたかっている人たちにえがおをとどけるいい仕事だと思いました。そして、ぼくは、そんな人がたくさんふえるといいなと思いました。

今までのぼくは、いつものふつうの1日1日を大切になんて思ったことがありませんでした。でも、今日の話聞いてから、このけんこうにいつもかわらない毎日を大切にしようと思いました。今日は、ありがとうございました。

### <4年A組 Aさん>

わたしは、おおむねこうすけさんのパフォーマンスがとてもおもしろかったです。おおむねこうすけさんは、びょういんにいる子どもたちを、えがおにしたい思い、いろいろな県に行ってすごいなと思いました。さいしょは、何をしている人なのかなと思っていただけ、おおむねこうすけさんのお話を聞いて、とてもいいことをしている人なんだなと思いました。わたしは、手をあげるのはにがてだけど、勇気をだしてすすんで手をあげたいと思いました。わたしは、いろいろな人をえがおにするのが、あまりできていないので、いろいろな人をえがおにして楽しくいきたいと思いました。おおむねこうすけさんのお話を聞いて、わたしは、ここはできているけどここはできていないなとくらべることができました。1日1日がまたもどることができないので、今日は、ここはやらなくていけないなと思いました。1日1日を大切にしていきたいと思いました。これらもたすけあったり、たすけられたりして1日をすごしてがんばっていききたいと思いました。

### <4年A組 Oさん>

おおむねこうすけさんの話をきいて、さいしょにショーをみたときとってもおもしろくて笑ってました。ついにくしゅしたくなるショーでした。こうすけさんが話しているとき、「子どもにはそんな力があるんだなあ」とか「生まれてくるのってそんなにすばらしいことなんだ」など考えていました。考えていくうちに、自分の目標が変わりました。ゆめはうちゅうひこうし、ロケットを作る会社をつくりたいと思っていました。いままで目標は「がんばって勉強する」でしたが、「こうすけさんみたいに人を笑顔にさせる人になりたい」と思いました。家では、ふだん3人か4人なので、おもしろいことをしたり、わらわせたりしていました。けど学校では家の3人、4人ではなく36人とたくさん人がいて、あまりおもしろいことができず、みんなとしゃべったり遊んだりして学校生活をおくっていました。けどこうすけさん話をきいて「家だけじゃなくて、たくさんの人におもしろい話などしたほうが、たくさんの人を笑顔にできるのか」と思

いました。だからこうすけさんみたいに、家の中で3人、4人を笑顔にするのではなく、こうすけさんのように、大人数の前、学校、習いごとでたくさんの人を笑顔にできたらいいなと思いました。また、笑顔にさせるついでで、こうすけさんみたいに、ショーをしたりびっくりさせたりいたずらさせたりしておどろかしたり、なるべく「どうやったらびっくりさせられるかな」とか、こうすけさんのようにケチャップとかだすやつなどたくさん工夫をして、みんなをわらわせたりして、自分のゆめ、目標をもち、はずかしくても勇気をだして話して、こうすけさんのようにわらわせる仕事もやってみたいけど、私は、しょうらいうちゅうひこうしをしながら、ロケットをつくりながら、人を笑わせたいです。そして、こうすけさんも話していたように、自分のゆめやもくひょうをきめ、小さいころから、毎日毎日、1日1日をたいせつにして生きていきたいです。

#### <5年A組 Kさん>

はじめの芸を見て、とてもおもしろかったし、すごかったです。大棟さんは、この芸を日本中の病院にとどけているので、病院ににゅういんしている人は、大棟さんの芸を、たくさんわらって、楽しんで、とってもうれしそうだったので、すごいなと思いました。

大棟さんの話を聞いて思ったことは、「友達」を大切に、毎日、わらって楽しもうと思いました。理由は、大棟さんは、「となりにいる人が、明日にはいなくなっているかもしれない」と言ったことです。大切な友達がいなくなってしまうたら、もう明日からは、毎日のようにわらえない、そう思ったからです。

大棟さんは、96病院を訪問して、13年前のえいそうを見ていたとき、「人は、人を見ているとき、こんな笑顔になるんだな」と思いました。

わたしは、今日、大棟さんの話、芸を聞いたり見たりしたとき、たくさんをまなびました。夢を叶えるために見つけるために、大切にすることということを、たくさん知ることができました。わたし自身も笑顔になったし、みんなも笑顔になっていたので、やっぱり大棟さんはすごい人だなと思いました。わたしも、いままでで知ったこと、今日知ったことをいかして、明日から、毎日をたのしくしようと思います。

#### <5年A組 Kさん>

ゆめや目標、ゆうきを大切に、何回も失敗して、はずかしくてもがんばっていることがわかったし、挑戦ということをしきしながらがんばります。

学校に行って、勉強したくても、思いっきり遊びたくても遊ぶことができない、家族、兄弟、友達にもあえない日々が、何年も何年も続く子どもたちを自分にできることはないか。少しでも楽しませてあげることができないのか。そこで、今日という一日を大切に使う、方法を考える。一日中ぐたぐたしても始まらない。この一日は、病院にいる子どもたちにはあげられない。少しでもゆうこうてきに、時間をむだにはしないということが分かった。

ぼくは「ゆめ」があります。ぼくは、けいさつかんになりたいです。そのためには、たくさん技術が必要です。耕介さんのように、ずっとゆめをもちながらがんばっています。ぼくは、ぼくなりにがんばります。耕介さんは、まだまだおぼえる技術などをがんばってください。

ゆめ・勇気・友達・目標・一日一日・挑戦を大切にしていきます。ぼくは、3ヶ月間のにゅういんしているときがあり、とてもとてもひまな日々でした。はげましてくださる人がいれば、とてもうれしいと思っていました。入院している子どもたちのためにがんばってください。

### <6年A組 Aさん>

大棟耕介さんの話を聞いて、ぼくは、昔にうでが岩にあたって、うでが完全に動かなくなったことがありました。その時、自転車で遊んでいたのに、誰もいなくて、立てなかった時に、ぐうぜん通りかかった友達がぼくを見つけて、ぼくを家まで送り届けてくれたことがありました。そのおかげで、すぐに病院に行くことができました。その後も同じクラスのみんなが心配してくれたり、一緒に、動かなくなったうでを動かす練習をサポートしてくれたりしました。そのおかげで、予定よりも3ヶ月早くうでを動かすことができました。うでが治ったときには、生まれた中で今も一番うれしかったです。なので自分は、今日から困っている友達を助けたり、自分から物を配るボランティア、スリッパそろえ、ごみ拾いなどをするようにしたいです。ぼくは、すぐあきらめてしまって挑戦しないことが多いので、自分に自信をつけて、仲間を助けてあげられるようにしたいです。

### <6年A組 Yさん>

私は、大棟耕介さんの話やショーを見て、人を笑顔にさせる仕事ってすてきだな、と思いました。私は、学校でも、いろんなことをめんどくさいで終わらせてしまうし、今日の「人権教育講演会」という内容を見て、授業で何度も聞かされて、ちゃんと理解しているのに、また人権の話が長々とするのか、とっていて、とてもいやでした。でも話を聞いて、理解しているだけじゃだめで、勇気を出して行動に移さないとだめなんだな、ということと、私は別に重い病気にかかっていないし病気の人の気持ちは分からないけど、私がめんどくさいでかたづけていることは、病気の方は、どれだけがんばっていてもできないことだったりするということが分かって、ざいあくかんがありました。けど、夢をかなえる方法を聞いて、自分が、がんばって、めんどくさがらずに全力でやれば、そんな人を楽しませたりすることができるんだな、と分かって、もっとがんばって1日1日を大切にしたいと思いました。

私は、習字や絵をかくことなどがとくいなので、絵本作家とかになりたいです。そのために教えてもらったことを生かしていけるように、自分の考えをみなおしていきたいです。

### <6年B組 Mさん>

・私は昔小さい時2回入院していて、大棟さんが言っていた通り、すごくひまで何もなくて、楽しくなかったけど、今日初めて、その仕事を知って、私があの時こんな人が来てくれたら、どんなに楽しく、うれしかったんだろうと思いました。自分の力で人をよろこばせるのはどんなにすごいことなのか、知ることができて良かったと思います。

・動画を見たとき、一人のために努力をして、練習をして、がんばっている大棟さんを見て、「こんなにがんばっている人がいる。私もがんばろう」と思いました。一人のためにがんばっていて、とてもすごいと思いました。

・最後に言っていた夢をかなえるためにすることを聞いて、とても心に残りました。とくに、友達を大切に作るの所で、それなら私もできていると初めは思っていたけれど、よく話を聞くと、今自分といっしょにいる友達の大切さを感じて、もっと大切にしようと思いました。

・私は今、絶対かなえる！！と言える夢はないけど、今日たくさん話を聞いて、大人になったとき、自分の夢、目標をかなえて、今の自分にじまんでいけるような大人になりたいと思いました。

<6年B組 Yさん>

私は、大棟耕介さんの話を聞いて、ホスピタルクラウンという仕事は、病院訪問をしたり、被災地や、戦争があった地域など海外にも行って、そこで、人を楽しませたり、元気がない人にも、笑わせたりしていて、とてもすてきな仕事だなと思いました。それに、大棟耕介さんの、夢のかなえ方の、友達を大切にする、1日を大切にする、色々な事に取り組む、という事を聞いて、私も夢をかなえるために、この4つを守っていこうと思ったし、人前で話すことが苦手だった自分を変えるためにホスピタルクラウンという仕事を選んで、ちゃんと成功していてすごいと思います。今、思っていることをちゃんと伝えないと伝わらないから、やりたい事、夢、目標や、どんどん伝えられる人になりたいし、人が生まれてくるということは、「きせき」という言葉だけでは表せないという事を聞いたので、友達、お父さん、お母さん、兄弟、親せきも、大切にしないといけないなと思ったし、毎日感謝して、後悔のないように生きたいと思いました。